



2022年3月1日

株式会社東急モールズデベロップメント

～ 食品ロス削減に向けて ～

青葉台東急スクエアで

社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」POPUP SHOP を開設

2022年3月8日（火）から16日（水）まで

株式会社東急モールズデベロップメント（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：秋山浄司）は、同社が運営する地域密着型商業施設「青葉台東急スクエア」にて2022年3月8日（火）から16日（水）までの期間限定で、社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」を運営する株式会社クラダシ（本社所在地：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：関藤竜也）のPOPUP ショップを開設します。

クラダシは、食品の賞味期限の切迫や季節商品、パッケージの汚れやキズ、自然災害による被害などの要因で、消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買取り、社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」で販売することで食品ロスの削減に取り組んでいる企業です。

まだ食べられるのに廃棄される食品の無駄を削減することは、日本だけではなく世界共通の課題となっています。農林水産省および環境省は、食品ロス量570万トンのうち食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は309万トンという推計値を発表しています¹。東急モールズデベロップメントでは、商業施設運営会社としてこのような課題に向き合い、課題解決に向けて少しでも出来ることはないかと模索しています。その一環として、事業系から出る食品ロス削減に取り組むクラダシが展開する、POPUP ショップを開設することに至りました。クラダシは、食品に限らないさまざまな商品のロスを削減するために、化粧品や日用品も取り扱っており、本POPUP ショップでも販売する予定です。

一日約5万人が訪れる青葉台東急スクエアに開設することで、お客さまに食品ロスなどの問題を知っていただき、廃棄やロスになるはずだった商品の消費促進のきっかけになればと考えています。

■ 「KURADASHI」POPUP SHOP 概要

開催期間： 2022年3月8日（火）から16日（水）
10:00 - 20:00

開催場所： 青葉台東急スクエア
South-1 本館 1F アトリウム

販売商品： 菓子、調味料、飲料、その他食品、
化粧品、日用品など



¹ 農林水産省および環境省「食品ロス量（令和元年度推計値）」より。

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/211130.html>

■ 東急モールズデベロップメントにおける食品ロスの削減に関する取り組み

たまプラーザ テラスでは、飲食店舗で売れ残り、廃棄しなければならない食品を同施設で働く従業員を対象に販売する取り組みを実施。

- ◆ 2020年11月、営業終了後に食品ロスになった食品を買い取り、臨時販売所にてお手頃価格で販売する実証実験を実施
- ◆ 2021年8月から、通信アプリ「LINE」のオープンチャット機能を活用して、従業員に食品ロスの商品を案内し、参加店舗にてお手頃価格で提供する取り組み「MOTTAINAI テラス」を実施中

<青葉台東急スクエア 施設概要について>

名称： 青葉台東急スクエア
所在地： 〒227-8555 神奈川県横浜市青葉区青葉台 2-1-1
運営： 株式会社東急モールズデベロップメント
開業日： 2000年11月1日
営業面積： 28,000㎡
テナント数： 109店舗
アクセス： 東急田園都市線青葉台駅直結
営業時間： ショップ：10:00～20:00 レストラン：11:00～22:30
※一部店舗により営業時間が異なります。
※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、営業時間が異なる場合があります。

URL: www.aobadai-square.com

<株式会社東急モールズデベロップメントについて>

株式会社東急モールズデベロップメントは商業施設（ショッピングセンター）の運営会社で、東急グループの一員。東急線沿線を中心に、駅直結もしくは駅前などの好立地において、駅利用者や地域にお住まいの方々のさまざまなライフスタイルに合わせた店舗ならびにサービスを提案し、地域密着型の商業施設を展開。主な運営施設は、「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」「たまプラーザ テラス」「港北 TOKYU S.C.」、「武蔵小杉東急スクエア」などの“東急スクエア”ブランド、東急線駅構内・駅近隣に展開する商業施設ブランド「etomo（エトモ）」など。2019年11月に開業した「グランベリーパーク」の運営業務を東急株式会社から受託し、現在、30のさまざまな形態の商業施設を運営。